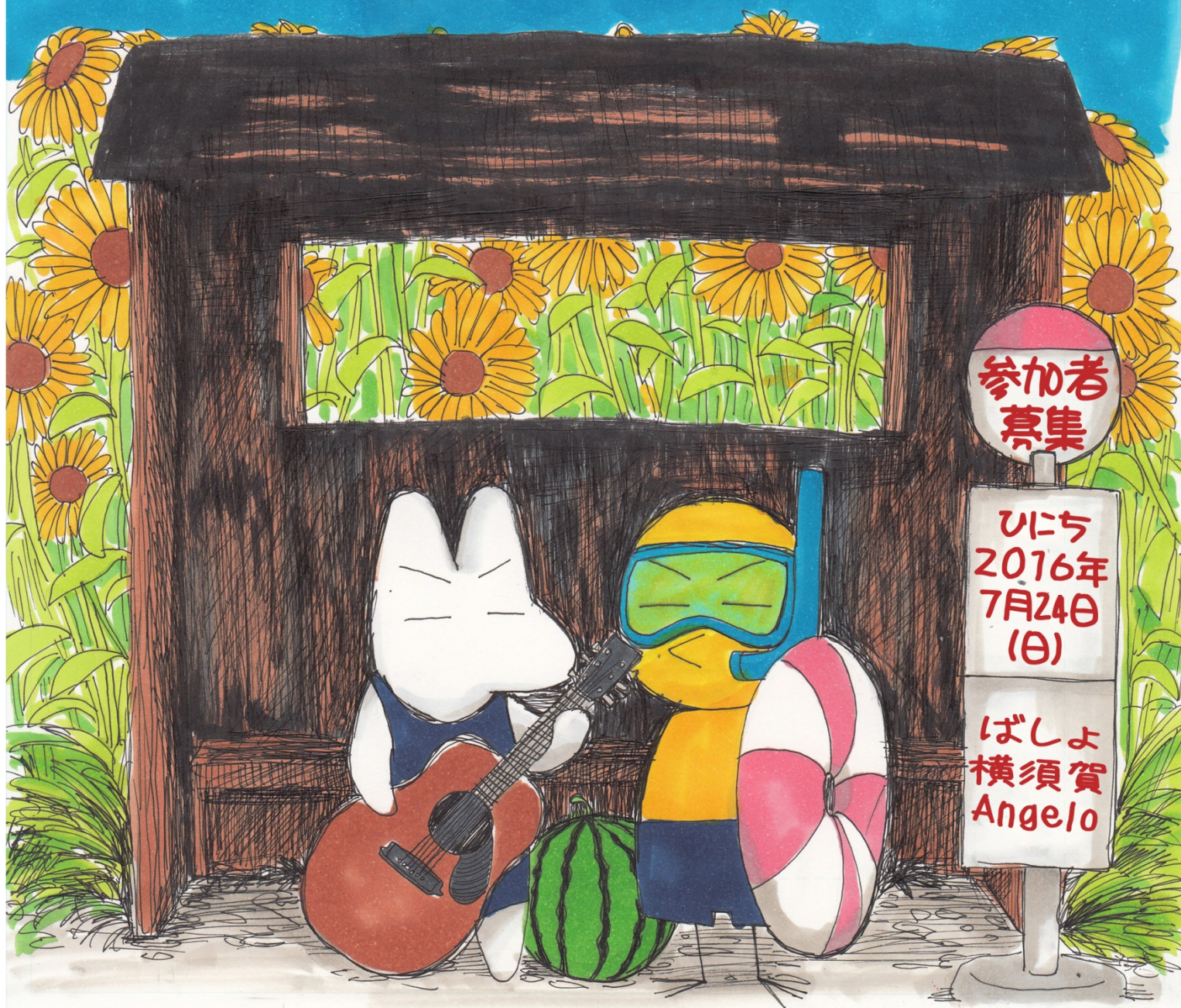


Museport Vocal School

ACOUSTIC Style 2016



ミューズポートボーカル教室定期ライブ

Acoustic Style 2016 参加者募集！

ピアノとギターによるアコースティックライブ。

豪華ミュージシャンによるサポートもあります。

●コンセプト：ミューズポートでは年3回の大きなライブイベントがありますが、夏はバンドライブとはうってかわって、アコースティックなライブイベントです！プロの豪華ミュージシャンによるサポートはもちろんのこと、ご自分で弾き語りで歌うこともできます。これを機に弾き語りに挑戦される生徒さんも多いです。ぜひぜひご参加くださいませ！

●日時：2016年7月24日(日)10:50～（リハーサル開始予定時間。本番は15:15開始予定）

●会場：横須賀 Angelo（横須賀市大滝町2丁目16小菅ビル5F Tel.046-828-7590）

●参加費：1曲¥3,500（税込）（ご自分で弾き語りされる場合の1曲の参加費。伴奏をご依頼される場合は別途下記のサポート代が必要です。また参加者にはライブハウスのドリンクチケットが1枚つきます（2名で1曲参加の場合も1枚）

●ミュージシャン・サポート費：1曲¥4,000（税込：ひとつの楽器につき）（プロのミュージシャンの演奏をバックに歌えます。当日のリハで楽曲を合わせます。上記価格は一楽器のみの費用ですが、ピアノ＆ギターという二楽器でのサポートも可能です。

※1曲をピアノもしくはギターのどちらかのサポートで歌う場合。参加費¥3,500＋サポート費¥4,000＝¥7,500

※1曲をピアノとギターの伴奏で歌う場合。参加費¥3,500＋ギター伴奏¥4,000＋ピアノ伴奏¥4,000＝¥11,500

●サポート・ミュージシャン



・吉野ユウヤ：2015年に「Red Cloud」「SHIN-KA」「DeepDive」をリリースしたばかりの新世代ピアニスト。作曲家&アレンジャーとしTVアニメ「夢色パティシエール」「毎日かあさん」主題歌、DHCのCMソングなどを手掛け、プレイヤーとしては川嶋あい、つるの剛士、などのレコーディングに参加している。また、定期ピアノコンサート「pf Garden」や恵比寿ウェスティンホテルでロビーコンサートなどを行っている。

公式サイト：<http://yoshinoyuya.com>



・平野雅己（まさき）：ジャズ、ソウル、ファンクからロックまで多彩なジャンルをこなすギタリスト。リーダーバンドの平野雅己 Quartet、インドの打楽器タブラを盛込んだジャンルレスなサウンド「Sarasvathia Jam Quintet（サラスヴァティア・ジャム・クインテット）」のほか、様々なボーカリストのサポートを行っている

公式サイト：<http://ameblo.jp/masaki-hirano>

●参加要綱（1曲6分以内、1人最大2曲まで）

1. 応募締切：先着40曲程度で締切とさせていただきます。
2. 参加費と楽譜提出締切日：6月18日（土）までにお願いします。
3. 弾き語りで参加される方は締切日までに参加費をご用意下さい。
4. 伴奏によって参加される方は、6月18日までに以下のものをご用意下さい。

① 参加費

② 歌いたい曲の音源

③ 楽譜（※小節ごとに区切られており、メロディ、歌詞、コード進行がわかる楽譜が必要です。）

5. リハーサルについて：ご自分で演奏される方はサウンドチェック程度となります。また出演順に関係なくピアノ・ギター別リハで行う可能性があります。

※ご準備いただく楽譜について（楽譜のご準備に関しては、ぜひスタッフにご相談下さい）

1. 歌詞とメロディ・ラインが記載されており、コード進行だけではなく、イントロからアウトロまでの小節が記載されていること。
例：「ピアノ弾き語り譜」「ギター弾き語り譜」「バンドスコア」など。「コード譜」は不可）
2. 楽譜が見つからない場合はスタッフにご相談下さい。
3. 「楽譜が見つからない」「歌詞とコードだけの楽譜しかない」など場合は、ミュージシャンに採譜して頂けます。採譜料¥6,480が必要です。

●サポート演奏のご注意点

1. ミュージシャンの伴奏は生演奏ですのでパーフェクトなプレイを保障するものではありません。また、原音に忠実な演奏は不可能ですのでご了承下さい。特にアコースティックなユニットでは、打ち込み系やテクノ系の音の再現は難しいです。
2. 歌が終わった後のアウトロで小節数が長い場合など、ミュージシャンの判断で短く省略されるのが普通です。ご要望（アウトロを完全に演奏してほしい、○小節分はやってほしい）がある場合は必ずお申し付け下さい。
3. キーチェンジは可能ですが、アコースティックなライブの場合、かなり音のニュアンスが変わってしまいます。できれば原曲Keyでの演奏をおすすめします。